



**土曜学習「わかまち 多治見大好き講座」
参加してみても考えたよ！**

第11期 チャレンジスポーツ in 多治見 (1/17)

I. 受講生より

1. 参加して新しく発見したことは何ですか？

- ・難しいことでも一生懸命やれば成功できることが分かった。(小5)
- ・わかったことは、4人バスケの得意な子が端っこで待ってパスが来た時に人が一番少ない子にパスをする。(小3)
- ・毎日基礎の練習をしたらうまくなれることが分かった。(小6)



2. 50年後の多治見はどうなっている？

- ・清流ヒーローズが強くなっている。(小5)
- ・孫が遊べるように、公園にバスケットゴールがたくさんあるとうれしい。(小1)
- ・50年後も今のように同じ講座が続いてほしい。(小4)



3. 未来の自分へ励ましのメッセージを送ろう！

- ・僕は、何でも挑戦ができるといいなと、思う。(小5)
- ・私は、自分から攻めて点をもっと取れるようになっていいなと思う。そのために今、練習がない日でも基礎練などをして、試合に使えるようにする。(小6)
- ・ヒーローズの人たちは、めちゃくちゃシュート率が高いなと思った。小さい頃からたくさん練習をしていたことが、見ていてとても伝わってきた。だから、自分も今のうちにたくさん練習をしてうまくなろうと思った。(小6)

76%の受講者が、多治見に対する願いと自分の行動を結びつけて考えることができた。

4. その他参加して思ったこと



- ・シュートが決まらず時間になってしまったけれど、監督さんが、「最後まであきらめずに。」と、応援してくれたことがうれしかった。(小1)
- ・「清流ヒーローズに勝ってやろうじゃないか」チームが、清流ヒーローズに1回だけ勝っていたことがすごかった。(小3)
- ・小1でも選手と試合をさせてほしかった。(小1保護者)
- ・わかりやすい遊びを教えてくれて、楽しませてくれて、バスケの楽しさを教えてくれてとてもいい講座だった。(小3)
- ・わざわざ僕たちのために遠い所から来ていただき、ありがとうございます。これからももっと上手になってください。(小4)
- ・中学生ボランティアが優しく案内してくれたのでうれしかった。(小4)

II. 中学生ボランティアより

1. 参加して新しく発見したことは何ですか？

- ・「バスケは日常生活からのつながり」と、ということがわかった。(中2)
- ・最初は目指していなかったことも、大人になるにつれて変わっていくということ。(中1)
- ・自分の夢を叶えるためには努力の積み重ねが必要ということがわかった。(中2)

2. 50年後の多治見はどうなっている？

- ・講座に参加した子や、中学生ボランティアとして参加した子たちがバスケットボールの選手になり、それが続いている、スポーツ選手になる子が増えている。(中2)

3. 未来の自分へ励ましのメッセージを送ろう！

- ・私はバスケがうまくなっていると思うので、BリーグやNBAに行ってみたい。(中2)
- ・私はまだ将来の夢とか職業が決まっていけないけれど、今回教えていただいた「努力の積み重ね」を意識して受験に向かおうと思う。(中2)
- ・私は将来バスケに関する仕事に就きたいので、今はバスケについて知って、体力を作り、今できることをしたい。(中1)
- ・どの公園にもバスケットゴールがあるようになっていいので、いろいろな人にバスケの魅力を伝える。(中1)
- ・多治見がスポーツの町として有名になっているといいなと思う。そのために自分はバスケットボールを通じて周りの人にスポーツの楽しさを伝えたい。(中1)
- ・この講座に参加した子たちが多治見の伝統的な職業を受けついでいるといいと思うので、もっとボランティアに参加して小学生に伝えていく。(中2)



4. 中学生ボランティアに参加して思ったこと

- ・土曜学習に参加してみても楽しかったし、新しい体験もできたのでまた土曜学習に参加したい。多治見のよさは、お祭りやイベントなどがあることだと思う。(中1)
- ・小学生たちがたくさん学ぶことができている、来たかいいと感じた。自分たちの町についてもっと知りたくなり、多治見の歴史とかも遊びながら知れたら、よさが広がるかなと、思った。(中1)
- ・今回は中学生がたくさんいて、ちゃんと一人ひとりの面倒を見ることができたけど、中学生に対しての指示が足りずに相手がオドオドしてしまうことがあったので、次は細かく指示したいと思った。ミニゲームの体験中小1の子の「ボールが欲しいな。」と言う声に気づいて、私が何も言わなくても小2の子がとっさに「いいよ。」とボールを渡していた。このすぐゆずり合いができることが多治見のよさのひとつだと思う。(中2)
- ・選手たちやサポーターの人たちが教えてくれて、すぐに安心して話すことができるので、とてもしゃべりやすくてよかった。つまり、多治見のよさは、優しい人が多いところで、誇れることだと思う。(中1)